

広報

ふじかわ



3月号

●平成3年3月5日発行 No.356

町のメモ

平成3年3月1日現在	
人口	17,654人
増減	-11人
男	8,655人
女	8,999人
世帯数	4,737世帯
面積	30.92km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩測 121



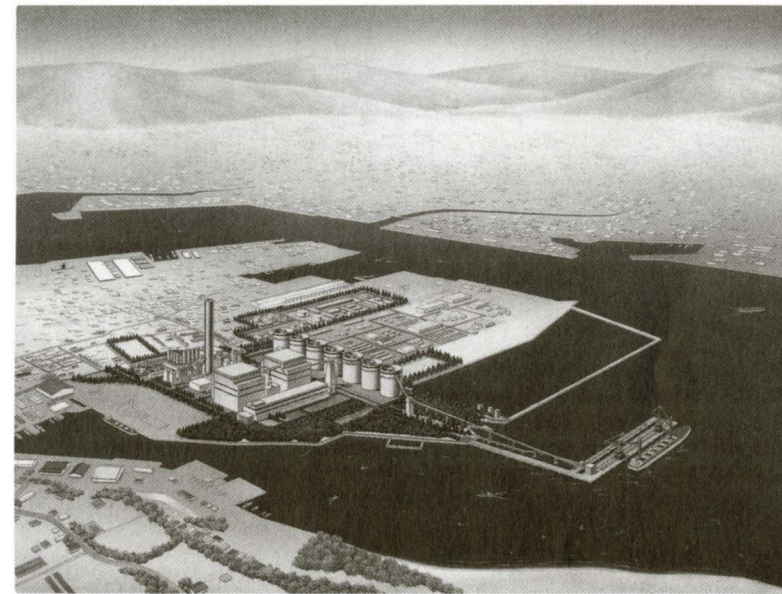
「ほく、児童館の
巡回映画が大好き」

(北松野保育園)

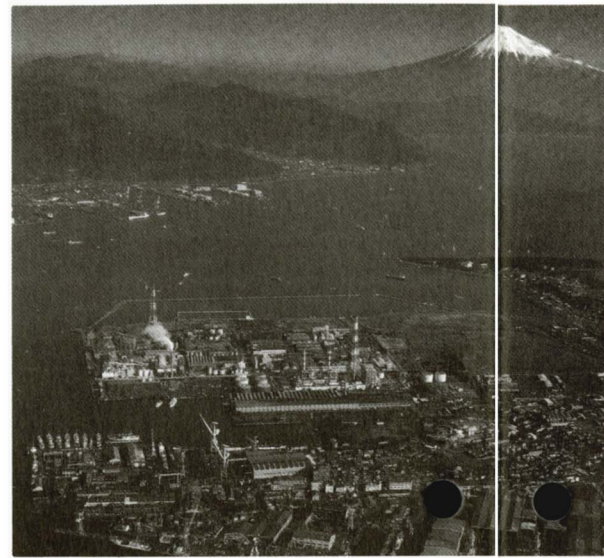
町のことしの目標 「自然と心ゆたかな町づくり」

中電の火力発電所計画

環境影響調査を4町で実施



中部電力㈱は、将来的な電力の安定供給を図るため、清水市三保地区に二百万キロワットの出力を持つ国内最大級の石炭火力発電所建設を計画しています。町では、環境に対する影響は科学的データが必要として、周辺の由比・蒲原・芝川町と共に「四町環境影響調査連絡協議会」を設置し、影響調査を実施することになりました。



石炭火力発電所の建設が予定されている 三保地区

由比町・芝川町の町長が二月十二日にそれぞれ清水市を訪れ、環境影響調査に至るまでの経緯を説明した上で、四町協議会からの質問に対し、中部電力㈱から明確な回答がなされるまで、発電所建設計画の推進について凍結されるよう要望し、要望書を提出しました。

石炭火力発電所の概要

■名称	清水火力発電所 1・2号機
■建設地	清水市三保字乾尻
■用地面積	中部電力㈱用地 約47万㎡ 県用地 約6万㎡ (譲り受け希望地)
■発電方式	汽力発電方式
■出力	100万キロワット×2台 =200万キロワット
■主原料	石炭 年間約450万t (石炭は、外航船などにより運び入れる予定)
■石炭灰	1日平均約1,800トン発生
■用水量	工業用水 1日約1万トン 上水 約60㎡
■冷却水量	海水を使用する。 45㎡/秒×2台=90㎡/秒
■営業運転開始予定	1号機 平成8年12月 2号機 平成9年12月

石炭火力計画のこれまでの経過は

昨年九月、庵原三町に対して中部電力㈱から、石炭火力発電所について説明がありました。地元の清水市では、市議会とも受け入れる姿勢を示し、十二月二日に清水市長が庵原三町を訪れ、三町の町長に対して、清水市の検討結果の概要を説明し、立地を容認する基本的な考え方を伝えました。

町の議会では十二月十四日全員協議会を開き、中部電力の公式な説明を受けました。大気汚染を中心に積極的な質疑が交わされました。この席上常葉町長は「環境への影響は専門家の意見を聞き、科学的なデータが必要」と意見を述べました。

このような経過で、十二月定例会で補正予算に調査委託費を計上し、議会もこれを了承しました。その後、富士川町議会で一月二十八日、また周辺四町(富士川町・蒲原町

みんなで環境を守ってきました

私たちの住んでいる富士川町は、富士地域に属し、これまで大気汚染の濃度が高い地域もあり、環境汚染には高い関心を示してきました。昭和四十八年、国から「公害防止計画策定地域」の指定を受け五年ごとに計画を策定し、目標に向けて、町・企業・住民の人たちが一体となって環境を守るために、みんなで努力してきた歴史があります。

四町の連絡協議会で

独自の調査を進めています

大気汚染・温排水など心配される私たちの影響について、独自の調査、研究を進めていく「四町環境影響調査連絡協議会」が設置されました。この協議会は、富士川町・蒲原町・由比町そして芝川町の各町長と助役を委員とし、四町の企画、総務、公害担当課長を幹事としています。

これから、この協議会では中部電力㈱の石炭火力建設に伴う具体的な影響調査について民間の調査機関に業務を委託します。この中には十人の学識経験者による調査検討委員会が組織され、中部電力㈱

から提供された資料やこの地区(庵原三町と芝川町)の大気汚染・気候・風向・風速・海の状態など、現在の私たちが住んでいる環境データを分析していきます。また、現在可動している石炭火力発電所の周辺市町村で、どのような影響があるか、検討します。

七月までには最終の報告書が提出される予定で、四町環境影響調査連絡協議会では、この調査結果をうけて、審議していくこととなります。報告書がまとまりましたら、みなさんにお知らせしたいと思います。

直線距離で十八キロしか離れていないのです。(野田山緑地公園から三保地区を望む)

1年間に約450万トンの石炭を燃やすと、膨大な炭酸ガス、硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじんが発生します。中部電力㈱は世界最高レベルの装置を設置して、これらの80%~90%を取り除くと説明しています。計算上富士川町にはあまり影響がないということですが、現在より汚染物質が増えることも予想され、気象条件などによっては濃度が高くなる可能性もあって、慎重な検討と対応をすすめていく必要があります。

また、石炭を燃やすことによって生ずる熱を冷やすため、駿河湾の海水が使われ、7℃上昇して放出されると報告されています。このため、周辺の海域の水温が変化することによって漁業への影響も考えられています。

『健康への第一歩は、まず歩くこと』。健康ウォークは、歩くことの楽しさを味わいながら、森林の中でのコンサートにも耳を傾けることにより、心ゆたかな気持ちにひたることを目的とします。



ふるさと再発見！ 第1回富士川健康ウォーク



全国一斉 ウォークラリー

毎年五月の第三日曜日(五月十九日)は、ウォークラリーの日。当日は全国の二百会場で行われ、富士川地区は富士川地区コース、松野地区コースの計二コースを計画しています。

競技方法は簡単です。二、六人で一チームつくり、コース図に従って歩き、途中チェックポイントで出される課題に答えながら規程時間内にゴールするようにグループごと競い合います。

上位入賞チームには賞状と賞品、また参加者全員に記念品他多数の参加賞があります。

町民ハイキング

ウォークラリーに参加するより、もっと気軽に歩きたい人や春の野山の散策をゆつくり楽しみたい人におすすめします。

富士川地区に二コース、松野地区に二コース設定します。

森林コンサート

目的地の野田山健康緑地公園(金丸山広場)では、ログハウスを中心に森林コンサートが行われます。自然環境の素晴らしい野外で音楽に耳を傾けコンサートを楽しんでみませんか。

また、回広場では、完成した炊飯施設を利用し、食へ物コーナーや飲み物コーナーなどのお店が開かれます。

※申し込み等詳細については後日、各世帯に配付されるパンフレットをご覧ください。問合せ：富士川町教育委員会 八二一—二二一



県立大学特別公開講座

高い出席率で修了しました

富士川町文化事業振興会(秀村敏朗会長)が、静岡県立大学(内菌耕二学長)との

共催ですすめてきました「平成二年度静岡県立大学特別公開講座」の閉講式が、二月二十日(水)中央公民館で行われました。

この特別公開講座は、文化活動の拠点としての中央公民館の活用や文化活動の高揚を図りながら生涯学習の推進をより図ることを目的として行われ、受講生九十七人は昨年十月から十回にわたり三

講座で、それぞれ学習してきました。

閉講式では、常葉雅文町長から生涯教育の重要性や受講生にねぎらいの言葉が述べられた後、三講座受講生の代表者に県立大学公開講座実施委員会の立田洋司委員長から修了証が手渡されました。

講師を務められた先生方は「受講生が非常に熱心で立派でした。町の文化活動の中で良い種を蒔くことや次代を担う若者の育成を期待します」と話されていました。



今後、振興会では、三講座への出席状況や受講生から寄せられた意見などを検討し、更に充実した講座開設に向けて県立大学当局と協議を進めていきます。



【3月】

- 15日(金) 幼稚園卒園式(一幼・二幼・さくら台幼)
- 17日(日) 体育館婦人バレーボール大会(社会体育館)
- 19日(火) 卒業式(一中・二中)
- 20日(水) 卒業式(一小・二小)
- 22日(金) 宇多利児童館・松野児童館合同館外活動
- 24日(日) 春休み子供人形劇(中央公民館)「こぶとりじいさん」
- 27日(水) 春休み映画大会(松野児童館)
- 28日(木) 春休み映画大会(宇多利児童館)

【4月】

- 4日(木) 入園式(岩淵保育園・松千代保育園)
- 5日(金) 入学式(一小・二小・一中・二中)
- 10日(水) 入園式(一幼・二幼・さくら台幼)
- 14日(日) 町長杯争奪ソフトボール大会(富士川河川敷)

3月24日(日)～4月1日(月)

図書室休室(年度末蔵書点検のため)
4月2日(火)から開室しますので、どうぞご利用下さい。(毎週月曜日・第3日曜日・祝日は休室)

青年の船に参加して

昨年十二月二十七日から一月六日までの十一日間、第二十三回静岡県青年の船が開催され、当町でも森山久美子さん(新町)と辻村洋二さん(中野台)の二名が参加しました。森山さんは香港、辻村さんはシンガポールで現地研修を行い帰国。そこで二人の方に研修後の感想をお聞きしました。



森山久美子さん(新町)

香港に着いて、地元の青年二人(女性)と私達十人のグループとの交流会があり、この会は船内で行われたので私達が受け入れる形となりました。冒険心をもち、積極的に交流を求めるとは香港の女性で、日本語、英語そして体全体を使ったジェスチャーでお互いの意志は十分通じました。つい言葉が通じないと



逃げた感じがちですが、こうした機会を与えられ、挑戦できたことに満足できました。交流会後、偶然にこの女性と香港の町で会い、その時の親切な対応は私の心に残っています。土産として残っています。



辻村洋二さん(中野台)

八日間ある船内研修の中で講演ゲストである村松友視氏(直木賞作家)や、山口香氏(柔道家)の一つの事を成し遂げた人の話を聞くことは、自分自身に足りない何かを教えられた様に感じます。全く会ったことのない人達が、この船に乗り込むことで出会い、自分や他人が持っている悩みなどを話し、真剣にそれ



子ども会の活動を発表

県子ども会体験発表会が2月10日、中央公民館で開催されました。町内の子ども会のリーダーとして活躍しているお父さんやお母さんと子どもたち500人が詰め掛け、会場は熱気でいっぱい。町社会福祉協議会の太田会長や芦川県議会議員が、青年リーダーとして活躍していた頃の様子や子ども会の歴史などを話された後、旭町・富士松野・木島・八幡町・舟山町・大北町・小池の子ども会の代表が壇上に立ち、体験発表をしました。



ちょっと緊張しましたが、終わってみると、たいへんよかったと思います。小学校生活の最後のいい思い出になりました。

「歯がきれいになりみがけたよ」

「親子はみがき教室」



二月二十日の、保健センターでの「親子はみがき教室」に八組の親子が集まり、歯ブラシの使い方を実習しました。

講師の立花先生は「お母さんが磨いてあげる時、遊びを取り入れて楽しい時間になり、普段から堅いものをかむ習慣をつけたいですね」と話し、歯の模型を使ってブラッシングの方法を説明しました。実習では染め出し液を塗り、歯がよくみがけなかった所を調べてみると、歯と歯ぐきの間や奥歯のかみ合せ部分があみかけていませんでした。この教室では来年度から、歯の検診も行われますので、ご参加ください。

富士川俳句会 (文協俳句会)

旅先の手帖に春の一句二句
一鞭に客乗せ動く水牛車
春日を摩文仁の丘に祈りけり
太陽に形を乱すチューリップ
軒先の雀紙漉たのしめり
吊し柿太陽だけが添加物
大寒の父の背丸くなりしかな
朝風や騎乗で巡ぐる枯木立
枯草に毛をからませて猫の恋
柔かくなり立春の厨水
ひよどりの叫びするどく霜の朝
けふ留守の夫に変わりて福は内
冬風や薄墨色に佐渡ヶ島
のんびりと鴨泳ぎくる紙千場
もの言はぬ手漉きの紙の白さかな
臘梅の香を供華として朝の経
初午の句会におもたせお赤飯
咳こみし吾子に添寝の雨の夜
微笑みを心に生きたし女正月

- 川 坂 伊藤きよ江
- 小 池 佐野百合子
- 川 坂 葉 タツ子
- 東 町 長谷川三恵子
- 新 町 小笠原和代
- 八幡町 松尾 保子
- 富士松野 市川美代子
- 中野台 毛保 君子
- 川 坂 望月 洋子
- 新町本町 土谷 光代
- 八幡町 綿織 悦子
- 本 通 倉内美枝子
- 堺 町 大石 清子
- 東 町 遠藤 弘子
- 新 町 杉山 晴子
- 富士見町 木伏 節子
- 南町一 鈴木悠紀子
- 南町一 遠藤美和子
- 南町一 後藤万知子

親子で楽しくブラッシング

うちの空間で 明るく居よう

いこいの 空間フォーラム



藪田先生の講演に
熱心にメモをとる参加者も

私たちが住んでいる地域の道路・空き地・公園・水辺など、身近な場所を利用した余暇活動を考える『いこいの空間フォーラム』が、一月三十日中央公民館で開催。このフォーラムは、県が進めている「いこいの空間」づくりを地域に実現するために、初めて企画

されたもので、会場には町の婦人団体連絡会など、六十人の人たちが集まりました。

(財)日本レクリエーション協会の藪田碩哉先生の講演では、①日本人の余暇時間も増えてきますが、この自由な時間を自分の人生のためにどのようなふうに使おうか。②余暇は余った暇ではなく、本当の暇(本暇)でなければならぬ。③時間は持ち寄ることができ、グループ活動でよりよく使うことができる。④グループ活動を発展させるために、身近な環境を点検し、使える空間を利用する、などユーモアを交えながら話され、グループ活動の情報交換で対話の輪を広げ、明るい地域づくりをすすめるように望みました。

続いて行われた意見交換会では、グループ活動の現状や「地域において、女性の活動できる場所がほしい」「自動車優先の道路だけでなく、散歩をしたり、自転車で遊べるようなコミュニティ道路があれば」「上手な余暇の過ごし方は、若い頃からの努力が必要」など、活発な意見が出されました。

わたしの意見

わたしは、空ビン。ごみではありません。回収されたわたしは、色分けされ、細かく砕かれて、ガラスの原料となり、また新しいきれいなビンに生まれ変わります。

わたしは毎月、北松野にあるリサイクル工場に集められます。そこで手作業により、白・茶・緑・黒・その他に色分けされる

空ビンのひんがし

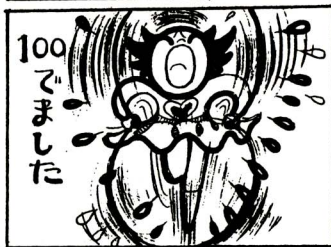
平井祥子

残しのジャムが入っているもの、コヒーが固まっていたり、漬物が入っているもの、封を切らない二合ビ

ンがあったり、それは、それは驚くばかりなのよ。中身の詰ったビンはごみとなってしまうのが多いのです。

限られた資源を有効に利用し、ごみを少なくするために、キャップをはずして、サツと水洗いして欲しいものです。どうぞ、私たちが美しいビンに生まれ変わらせてください。





今まで社会福祉協議会への寄付金をこの欄で紹介していましたが、町社会福祉協議会で月一回発行している「ふれあい」に掲載させていただきますので、よろしくお願います。

区名 氏名 保護者 続柄 (出生届)

相生町 見城千恵子 憲孝 二女
 相生町 石川泰之 元彦 二男
 宮町 山田早織 勝久 長女
 大栗窪 山口実来 政己 二女
 大栗窪 佐々木暁洋 伸 長男

旭町 望月のぶゑ 七八
 旭町 花田 テイ 九〇
 旭町 小泉さく江 八四
 旭町 望月のぶゑ 七八
 本通一 今井 藤雄 七〇
 本通三 佐藤 春子 七六
 東町二 小林 理一 八九
 清水町 澤地 ハナ 七四
 大北町 佐野 シゲ 九一

平成3年1月15日

2月14日

すこやかに



やすらかに

区名 氏名 年齢 (死亡届)

幸町 芦川文哉 正直 二男
 易崩 望月 岬 豊晴 長男
 中野台 石切山惠理 充 三女
 清水町 望月佳美 伸介 長女

一里塚



「お父さん、ショウリって何？。幼稚園児の息子から聞かれて、内心困ったなと思った。テレビからはイラクと多国籍軍の戦争ニュースが、ひっきりなしに流れている。アナウンサーのトーンの高い声が子供の耳に入ったのだろう。「勝利っていうのは、試合や競争に勝つことだよ」と答えると、「フーン」と子供はアゴをしゃくってみせた。その

後のニュースを聞きながら、戦争における勝利ってあるのだろうかとか、大古から戦争をくり返してきた人間の歴史は、これからもまだまだ続くのだろうかなどと考えていたら、戦争を経験した僕の父が、自分からは戦争について話さないこと、話すときは、どことなく寂しそうな事を思い浮べた。その背中には、戦争なんかに、人間としての勝利はないと語っている様に感じた。外は冷たい風の朝です。青い空に泰然自若の富士山が僕を見ていた。

(佐野静雄)

お母さんの「知恵袋」

パンの
利用方法

たった一枚残って固くなった食パン。カビてしまったパン。また、うっかりこがしてしまつた食パンを、このように利用してみてはいかがでしょうか。

①真黒に焼いて、冷蔵庫に入れておくと、匂いをすいとって、脱臭済になります。

②靴の中に入れておくと、イヤな匂いにつきません。

(食パンは黒く焼くほど、効果があります。)

③「端パンのピザトースト」ピザソースを端パンにぬりサラミソーセージやハムなど、あり合わせの具を乗せピーマンの薄切り、玉ねぎのスライスを加えて、ナチュラルチーズをたっぷり乗せます。これをオーブン・トースターで、十数分焼くと、おいしいピザトーストが出来上ります。ぜひ、お試しください。

(婦人会 芦川)